

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
194

2019年9月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一九年八月十二日発行(SSKP通巻第七二二五号)



海の中にいるみたい!! (コイノニアかみきた)

● 本年度の聖句

主に望みをおき尋ね求める魂に主は幸いをお与えになる。
主の救いを黙して待てば、幸いを得る。若いときに軛(くびき)を負った人は、幸いを得る。

(「哀歌」 3章25―27節)

重なる思い

理事長 佐分利 正彦



最近、わが家を建て直す機会があり、大量の不要物を廃棄することになりました。私の両親の遺したもののかなりの部分をこの際処分しましたが、母が遺していた古い手紙類の中に、思いがけないものを発見しました。それは一通の電報で、母の従弟宛の召集令状(いわゆる赤紙)です。この母の従弟のことは以前のこの欄で触れたことがありますが、母の手許にその人宛の赤紙が存在することは全く知りませんでした。恐らく跡取りを失った遺族から母に託されたと思われるのですが、今となっては詳細は分かりません。

話は変わりますが、最近、『この世界の片隅に』というアニメーション映画を見る機会がありました。広島県呉市のハズレに暮らしていた主人公「すず」さんの日常に戦争(太平洋戦争)が次第に影響を及ぼし始め、ついには米軍の攻撃が「すず」の右手と一緒にいた姪の生命を奪いました。「すず」は絵を描くことが大好きでしたが、右手で描く楽しみは失われました。戦争が終わったことを知ったときに、「すず」は大粒の涙を流して嘆きました。戦争の理不尽さを感じさせたシーンでした。また、「すず」の絵の題材とされた原爆ドーム(当時の名称は広島県産業奨励館)の被爆前の姿が、何回か映画の中に登場したことが印象に残っています。

考えてみると、「すず」さんと私の母はほぼ同世代(母の方が年長)と言えます。母が戦死した従弟への赤紙を秘かに持ち続けてきた思いと、「すず」さんの嘆きとは、重なる部分があるのではないかと思うのです。

2018年度 決算報告

事業報告

法人は、経営強化のため理事、監事及び評議員の意見を尊重し法人運営を進めました。

◎法人本部

（1）ホームページを活用した情報発信や、監事による各事業所の内部監査を実施し、透明性のある事業経営を行いました。

（2）トータルな人材マネジメントの推進のため新しい人事制度の運用を始めました。

◎泉の家

（1）東京都の実地検査や第三者評価の受審結果により、課題を改善しその後の支援に生かしました。

（2）地域との交流やボランティアとの強い結びつきを大切にしながら様々な活動を実施しました。

◎岡本福祉作業ホーム・玉堤分場

（1）支援マニュアルの見直しや改定を行いました。

（2）個別支援計画の策定を丁寧に行い、満足度が上がりました。生活介護では重度高齢化対策でリラクゼーションスペースを設けました。

（3）玉堤分場の就労移行支援事業では企業実習や職場見学を行い、利用者1名の就職が決まりました。

◎相談支援センターおかもと

（1）丁寧な対応を心がけ、利用者を取り巻く環境やご本人の変化に合わせて利用計画を変更しました。

◎コインニアかみきた

（1）2018年11月に開設し、在宅者の事業所利用に結びつけることができました。

（2）パンの製造・販売を通して、地域に開かれた施設を目指しました。

（3）近隣高齢施設と合同音楽会を開催して、交流を図りました。

（1）開設前から体験利用の受け入れを行い、入居につなげました。

（2）利用者一人ひとりに合わせ主体性を尊重したサービス提供に努めました。

（3）利用者と積極的にコミュニケーションを取る時間を作り、ニーズを把握して情報共有しました。

◎日の出舎

（1）施設入所支援事業や生活介護事業では健康寿命の観点から、皮膚疾患対策や理学療法士及び作業療法士等の専門職の導入をしました。

（2）町民文化祭等の地域行事や合同作品展に地域住民として参加できるよう支援しました。

◎就労日の出舎

（1）木工作業の環境改善と安全強化を図りました。

（2）森林認証制度を活用し、多摩産材関連のイベント等にも参加して、木工製品の収益は約1,660万円と前年度比180万円増加しました。

◎相談日の出舎

（1）関係機関等と連携して日の出町を中心とする地域の福祉ニーズに応えられるよう努めました。

（2）対面接を重視しご本人の背景や環境にも着目することを心がけました。

◎グループホームのぞみ

（1）利用者としてやってみたいことや、お互いの生活スタイルの違いについて対話を持ちました。

（2）個別の外出や外食を全員が実施できました。

法人合計貸借対照表の要旨 (単位:円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	304,640,389
固定資産	1,566,409,505
基本財産	1,236,768,092
その他の固定資産	329,641,413
資産の部合計	1,871,049,894
負債の部	
流動負債	87,632,430
固定負債	165,375,236
負債の部合計	253,007,666
純資産の部	
基本金	167,037,230
国庫補助金等特別積立金	742,157,481
その他の積立金	130,700,000
次期繰越活動増減差額	578,147,517
純資産の部合計	1,618,042,228
負債及び純資産の部合計	1,871,049,894

法人合計事業活動計算書の要旨 (単位:円)

科目	金額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	849,609,232
サービス活動費用	895,955,510
サービス活動増減差額	△ 46,346,278
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	5,325,729
サービス活動外費用	977,194
サービス活動外増減差額	4,348,535
経常増減差額	△ 41,997,743
特別増減の部	
特別収益	306,064,000
特別費用	305,670,482
特別増減差額	393,518
当期活動増減差額	△ 41,604,225
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	566,067,660
当期末繰越活動増減差額	524,463,435
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	104,384,082
その他の積立金積立額	50,700,000
次期繰越活動増減差額	578,147,517

法人合計資金収支計算書の要旨 (単位:円)

科目	金額
事業活動による収支	
事業活動収入	854,934,961
事業活動支出	858,878,399
事業活動資金収支差額	△ 3,943,438
施設整備等による収支	
施設整備等収入	386,064,000
施設整備等支出	446,670,761
施設整備等資金収支差額	△ 60,606,761
その他の活動による収支	
その他の活動収入	105,506,522
その他の活動支出	56,003,800
その他の活動資金収支差額	49,502,722
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	△ 15,047,477
前期末支払資金残高	265,745,475
当期末支払資金残高	250,697,998

事業活動計算書

岡本福祉作業ホーム (単位:円)	
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	5,795,289
障害福祉サービス事業収益	217,833,049
自立支援給付費収益	2,056,267
補助金事業収益(公費)	860,540
受託事業収益(公費)	214,775,522
その他の事業収益	140,720
経常経費寄付金収入	78,000
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	223,706,338
費用	
人件費	135,694,643
事業費	21,098,901
事務費	67,437,601
就労支援事業費用	5,998,499
減価償却費	80,617
サービス活動費用計(2)	230,310,261
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 6,603,923
サービス活動外増減の部	
収益	
受取利息配当金収益	0
その他のサービス活動外収益	179,383
サービス活動外収益計(4)	179,383
費用	
その他のサービス活動外費用	29,000
雑損失	29,000
サービス活動外費用計(5)	29,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	150,383
経常増減差額(7=3+6)	△ 6,453,540
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	0
特別収益計(8)	0
費用	
固定資産売却損・処分損	2
拠点区分間繰入金費用	0
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	0
特別増減差額(10=8-9)	△ 2
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 6,453,542
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	20,152,387
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	13,698,845
次期繰越活動増減差額	13,698,845

2019年3月末日現在

泉の家			
生活介護	20名	19名	
就労移行支援	6名	0名	
就労継続B型	25名	27名	
平均工賃			13,272円

岡本ホーム			
生活介護	24名	27名	
就労移行支援	6名	0名	
就労継続B型	10名	9名	
平均工賃			10,935円

玉堤分場			
就労移行支援	6名	2名	
就労継続B型	13名	16名	
平均工賃			14,077円

コインニアかみきた			
生活介護	20名	3名	
就労継続B型	30名	7名	
平均工賃			77,838円

グループホーム こいのあ			
ユニット・そら	8名	8名	

日の出舎			
施設入所	45名	45名	
生活介護	55名	52名	
就労継続B型	20名	25名	
平均工賃			46,147円

グループホーム のぞみ			
ユニットのぞみ	6名	6名	

泉の家 (単位:円)	
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	6,954,129
障害福祉サービス事業収益	181,087,013
自立支援給付費収益	103,211,563
利用者負担金収益	365,199
特定費用収益	3,042,026
その他の事業収益	74,468,225
経常経費寄付金収入	239,820
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	188,280,962
費用	
人件費	91,668,642
事業費	14,756,817
事務費	61,689,643
就労支援事業費用	7,051,536
減価償却費	13,367,454
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 10,957,213
サービス活動費用計(2)	177,576,879
サービス活動増減差額(3=1-2)	10,704,083
サービス活動外増減の部	
収益	
借入金利息補助金収益	782,000
受取利息配当金収益	822
その他のサービス活動外収益	2,457,868
サービス活動外収益計(4)	3,240,690
費用	
支払利息	782,000
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計(5)	782,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	2,458,690
経常増減差額(7=3+6)	13,162,773
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	744,000
特別収益計(8)	744,000
費用	
資産評価損	0
固定資産売却損・処分損	6,482
国庫補助金等特別積立金取崩額(除去等)	△ 2
国庫補助金等特別積立金積立額	744,000
拠点区分間繰入金費用	52,930,000
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	53,680,480
特別増減差額(10=8-9)	△ 52,936,480
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 39,773,707
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	△ 2,200,471
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	△ 41,974,178
その他の積立金取崩額	76,000,000
その他の積立金積立額	33,000,000
次期繰越活動増減差額	1,025,822

日の出舎 (単位:円)	
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	18,828,834
障害福祉サービス事業収益	395,590,929
自立支援給付費収益	292,784,258
利用者負担金収益	484,717
補給給付費収益	7,540,538
特定費用収益	27,802,416
その他の事業収益	66,979,000
経常経費寄付金収入	396,000
その他の収益	46,260
サービス活動収益計(1)	414,862,023
費用	
人件費	265,047,919
事業費	47,648,700
事務費	51,597,329
就労支援事業費用	19,897,514
減価償却費	45,759,776
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 19,175,011
サービス活動費用計(2)	410,776,227
サービス活動増減差額(3=1-2)	4,085,796
サービス活動外増減の部	
収益	
受取利息配当金収益	55,014
その他のサービス活動外収益	1,282,638
サービス活動外収益計(4)	1,337,652
費用	
支払利息	0
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6=4-5)	1,337,652
経常増減差額(7=3+6)	5,423,448
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	0
事業区分間固定資産移管収益	0
特別収益計(8)	0
費用	
資産評価損	0
固定資産売却損・処分損	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0
拠点区分間繰入金費用	17,070,000
その他の特別損失	0
特別費用計(9)	17,070,000
特別増減差額(10=8-9)	△ 17,070,000
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 11,646,552
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	444,133,627
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	432,487,075
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	432,487,075

本部 (単位:円)	
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	0
障害福祉サービス事業収益	0
経常経費寄付金収入	1,228,000
サービス活動収益計(1)	1,228,000
費用	
人件費	3,185,303
事業費	23,384
事務費	5,370,531
減価償却費	12,015
サービス活動費用計(2)	8,591,233
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 7,363,233
サービス活動外増減の部	
収益	
借入金利息補助金収益	0
受取利息配当金収益	225
その他のサービス活動外収益	418,545
サービス活動外収益計(4)	418,770
費用	
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6=4-5)	418,770
経常増減差額(7=3+6)	△ 6,944,463
特別増減の部	
収益	
施設整備等寄付金収益	400,000
拠点区分間繰入金収益	27,000,000
特別収益計(8)	27,400,000
費用	
拠点区分間繰入金費用	30,180,949
特別費用計(9)	30,180,949
特別増減差額(10=8-9)	△ 2,780,949
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 9,725,412
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	37,105,412
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	27,380,000
その他の積立金取崩額	28,384,082
施設整備等積立金取崩額	28,384,082
施設運営費積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	17,700,000
施設整備積立金積立額	17,700,000
次期繰越活動増減差額	38,064,082

コインニアかみきた (単位:円)	
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	4,470,190
障害福祉サービス事業収益	17,170,597
自立支援給付費収益	9,586,232
利用者負担金収益	143,387
補給給付費収益	270,000
特定費用収益	2,303,910
その他の事業収益	4,867,068
経常経費寄付金収入	55,000
その他の収益	0
サービス活動収益計(1)	21,695,787
費用	
人件費	30,016,499
事業費	15,354,571
事務費	15,336,255
就労支援事業費用	4,470,190

新任職員紹介2019

*新人職員の皆さんに伺いました「どのような職員になりたいですか？」



日の出舎
支援員
岡野 夏貴
NATSUKI OKANO

誰に対しても誠実で、公正さを大切にしていきたい。よくある表現ではあるが職員にも利用者にも信頼してもらえる職員になりたい。



日の出舎
支援員
吉永 美智代
MICHIO YOSHINAGA

日の出舎で一日過ごされる利用者が、楽しく生活できるような職員でありたいと思います。



日の出舎
支援員
古川 悦子
ETSUKO FURUKAWA

支援員一体となり、情報共有や協力をもち意見をきちんと伝えられるようにしていきたいと考えています。



日の出舎
支援員
加藤 友紀
YUKI KATOU

信頼ある嘘偽りない職員でありたい。



就労日の出舎 グループホームのぞみ
支援員
市川 美和
MIWA ICHIKAWA

利用者の意見や訴えに正面から向き合い、相手を尊重し敬愛し、一緒に笑って一緒に喜んでコミュニケーションを大切に支援していけるような職員になりたいと思っています。



就労日の出舎
支援員
松浦 弥生
YAYOI MATSUURA

利用者様の気持ちに寄り添いながら、安心・信頼の持てる支援者になりたいです。



泉の家
支援員
池田 征怜仁
YUREHITO IKEDA

相手の気持ちを理解し相手の立場に立った支援ができる職員になりたいです。



泉の家
支援員
船迫 剛史
TAKESHI FUNASAKO

自分にまかされた仕事を自分なりにやり、相談や確認をとりつつ仕事に励み、今後も少しずつ積極的に行動し、周りの職員の方に頼ってもらえるような職員になりたいです。



岡本ホーム
支援員
多田 健一郎
KENICHIROU TADA

必要な時には近くで寄り添い、一人になりたいときには遠くで見守る。利用者にとって心地良い空気のようなそっと包み込む存在でありたいと思います。

新人研修



どのグループも活発に話し合いが行われました

今年度の新任職員研修には日の出エリアより6名、世田谷エリアより3名計9名が参加しました。例年通り世田谷・日の出各エリアの事業所を見学して回った後、今年は「ゴイノニアかみき」に集合して研修を行いました。先ず、理事長の講話では泉会がどのような経緯で発足したかを踏まえて、キリスト教にまつわるお話の紹介がありました。続いて事務局より、諸規程に関する説明がありました。最後にグループワークを行い、ロールプレイを通して



理事長と事務局長を囲み、笑顔の新任職員達

『ちゃん付け』で呼んで欲しいと訴える利用者や、関係を築くために要望を受け入れるべきか悩む職員の葛藤を体験した後グループごとに話し合いました。利用者の人格を尊重する意味でも、公平性を保つためにも社会人同士の接し方をすべきである、等と活発な意見が交わされ、それを理解していただけのように時間をかけて他の職員と協力しながら信頼関係を形成することの大切さを改めて感じる機会となりました。
(研修分科会)

日の出エリア施設だより

就労日の出舎だより 「発展途上の私です」



にぎつてくまさん完成しましたあ！

私は5年前、あきる野学園を卒業して就労日の出舎に入りました。最初は下請けの仕事で、ペアリングや部品入れをしていました。去年の2月から木工の仕事に移り、磨きは得意じゃなかったけど、職員さんに教えてもらい、得意になりました。にぎつてくまさんの磨きも、少しずつ上手にできるようになりました。最初、工賃も多くなかったけど、最近は、工賃も多くなってきたように感じました。これからやりたい仕事は、紙貼りと塗装です。
(工藤 彩里)

日の出舎だより 自衛消防訓練技術審査会

梅雨空が続く6月21日。私を含めた日の出舎の職員3名で、「自衛消防訓練技術審査会」に参加しました。これは、近隣の施設が一堂に会し、各施設の災害時における、一連の消火活動を審査するといったものです。目覚ましい結果を残した上位3施設には栄光ある表彰状が贈呈される為、各々に奮闘し、互いに魅せ合う活気溢れる大会でもあります。私達も本番に向け、0の状態から練習を始めました。一連の動作は、互いの息を合わせるのが肝となるだけに困難を極め、初めは上手くできない事も多々。それでも、限られた時間の中で、徐々に上達を感じ、時には楽しさも噛み締めながらコツコツと練習に励みました。早々に月日が流れ、本番当日は開催を喜ぶかの様に心地好い風の吹く、絶好の大会日和でした。会場へ出発する前に利用者の皆様から頂いた



声、出ます！

応援や期待を胸に、本番をドキドキしながら待ち、ついに私達の出番が！残念ながら入賞こそできなかったという昂揚感と、本番まで協力頂いた方々、共に参加した職員に、感謝の気持ちで一杯です。演習終了後、会場に来ていたVR防災体験車で、様々な災害状況を体験したり、他施設の演習を見学する等、防災に関わる出来事に終始しました。又、この度の経験で、普段の生活の上でも、身の回りの危険を察知し、防災に徹する事の重要性を、肌で感じる事ができました。
(常井 洸貴)

グループホーム のぞみだより GHの休日の楽しみ



キティちゃんかわいいです

先日、入所者の児玉さんが移動支援を利用し、念願のサンリオピューロランドへ行きました。モノレールに乗りたいたいという希望もヘルパーさんと相談しながら準備をしました。当日はあいにくの雨でしたが、本人は朝からソワソワ。ヘルパーさんの到着を待っていました。雨で行きはタクシーでしたが、帰りはご希望のモノレールで帰ってこられ、土産話や写真を沢山見せてくれました。「楽しかった。また行きたい所を探す。」と話していました。GHのぞみではこれからも、皆が楽しく生活していけるようサポートしていきます。
(市川 美和)

世田谷エリア施設だより

岡本福祉作業ホーム だより

「がんばっていますー清掃作業」

岡本ホームから車で5分ほどの距離にある「鎌田三丁目公園」の清掃を週に1〜2回のペースで行っています。住宅街の中にある小さな公園ですが、桜や銀杏、楓などの木々も植わり、春には花が咲き、秋には落ち葉が積もります。私達はほうきでゴミを集め、砂場の砂をならし、排水溝に溜まった落ち葉を取り除きます。冬は寒く、夏は暑いので、いろいろと大変なこともあります。作業が終わった後に飲むお茶は格別です。



協力してゴミを集めます。

駐輪場清掃は用賀駅の程近くにある駐輪場を週1回のペースで掃除する仕事です。首都高速道路の高架下なので、雨が降っても小雨程度であれば行うことができます。トンガを使って地面に落ちているタバコの吸殻や紙くず等を拾っていきます。駐輪場を利用される方とすれ違うこともあります。お先のような時は「こんにちは。お先にどうぞ。」等のお声をかけ、安全に気を配っています。

今回ご紹介した他にも様々な作業を行っています。屋外作業は地域の方々との交流が期待でき、利用者にとっては社会参加の機会となっています。

これからも安全に気をつけながら、屋外作業を継続していきたいと思っています。
(多田 健一郎)



小さいゴミも見逃しません

玉堤分場だより



「梓」を超えて繋がる



施設長の説明を熱心に聴いています

毎日おなじ事を繰り返すと、飽きます。何故なら思考の「梓」が出来てしまうから。新しい刺激がないのは脳にとってもあまりよくないこともあります。施設の支援もそうならないように。施設の支援の一環としてコイノニアかみきたに皆で見学に行ってきました。そこには新しい施設、新しい発見

懐かしい顔(写真左端)がありました。「面白かった」「水耕栽培が印象に残った」「楽しそうなお所」「野菜が美味しかった」「キレイ」「立ち仕事で大変そう」「パンが美味しかった」「また行きたい(全員)」などなど、利用者さんからの声が上がりました。訪問できてよかったです。同行した職員はホワイトボードになる壁など施設の機能性の高さに心惹かれていました。

また住宅地の只中にある、コイノニアかみきたが運営する「いちっちょうめパン」は、そこで働いている利用者さんと職員、そしてお客様との距離感が近い事がとても印象的でした。福祉施設が自分たちの「梓」にとらわれずに地域に開かれている事。「梓」を超えて繋がる事。それこそ泉会や福祉の核にある精神ではないかと思えます。障がいがある人もない人も地域で共に生きる社会を広げるコイノニアかみきたの姿に私達も新しい刺激をいただきました。コイノニアの皆さん、ありがとうございます!
(北村 卓也)

泉の家だより



2年振りの河口湖旅行へ

今年も泉の家の一大行事、「二泊旅行」の季節となりました。行き先は一昨年利用者の方から好評だった「河口湖」に5月、6月の2回に分かれて行きました。

今回は旅行中、ペーパーウェイト作り体験を行いました。お好みの型に工夫してお花を置き、個々のオリジナル作品の完成です。利用者の皆さん、わいわいお話ししながら楽しんでいらつしました。



上手に仕上がりました

そして今回の見学先は、オルゴール美術館です。館内ではお花を眺

めたり、シヨールを見学したり、個々の時間を過ごされていきました。中でも、ソフトクリームを笑顔で召し上がっている方が沢山みられたのが印象的でした。旅行では、美味しい物を堪能することが皆さんの一番の楽しみようです。



美味しいソフトクリームに笑顔

今年も旅行前には例年同様、生活介護で、てるてるぼうずを作り、晴天を願いました。しかし、6月の旅行は2日目は生憎の雨となりました。でも旅行が終わってから、利用者の皆さんそれも笑って話されておりました。全部が素敵な思い出になったようです。
(徳富 聡士)

コイノニアかみきた だより



笑顔溢れる施設へ!

コイノニアかみきたが開所して間もなく1年が経過しようとしています。開所当時は閑散としていた施設内も、段々と賑やかになり、パンのいい香りや利用者の笑顔が毎日溢れています。

6月にはコイノニア初の日帰り旅行を計画し、新江ノ島水族館へ。慣れない場所、初めての旅行。利用者も職員もドキドキでした。シラスカレーやカツオ丼等江の島らしい海鮮メニューをカフェで食べ



イルカが目の前でジャンプ!



大迫力のイルカショーを満喫!

コイノニアの次の大きな行事として、10月19日(土)に施設公開行事を予定しています。パン作り体験や生活介護で行っている活動体験等、「コイノニアかみきた」ならではの体験コーナーを多数ご用意しています。

日頃の活動の様子や施設の雰囲気を知っていただく機会として、皆様のご来場をお待ちしています!
(木村 賢幸)

縁あつて泉会 山内 浩一様

昨年度、泉の家には延べ250名の方がボランティアとして活動や行事に参加して頂きました。ピアノ伴奏や創作の講師、販売会の補助や作業のお手伝い等、様々な場面で活躍していただいています。

山内さんは、3年前の自転車販売会を皮切りに主に就労Bの活動でご協力頂いています。航空会社で飛行計画を作成し地上からパイロットの支援をする仕事を退職されてから、社会への恩返しとしてボランティア活動を始めたそうです。

「泉の家は、皆元気で一生懸命」「ウマが合い居心地が良い。元気をもらっている」とは喜ばしい限りです。「体を動かすので体調も良い」と、現在は販売会用の自転車整備に精を出して下さっています。「サビ落としが大変ですけど、見違える程きれいになっ



整備の仕上げは素敵な笑顔

た自転車が売れる事が嬉しい」とのこと。また「おかげで自宅の掃除をマメにするようになった」と思わぬ効果も。

販売会へもほぼ毎回参加してくださいます。現在売れ行き好調の国旗カラーをイメージしたミサガを提案してくれたのも山内さんです。自らミサガを購入して旅先で知り合った方へプレゼントしてくれています。年末にはニュージールランドでクルーズ船旅行をされるそう。「ニュージールランドカラーのミサガを配る」と、さながら『泉の家大使』のようです。元気をもらっているのは、むしろ泉の家です。これからも宜しくお願い致します。

(島田 隆介)

2019年度9月～12月予定表

行事	販売会
9月8日(日) 施設公開「Open the Door」(泉の家)	9月8日(日) ひのでスマイルフェスティバル(就労日の出舎)
施設公開 まるごとおかもと(岡本)	9月14日(土) ドミニコ学園祭・委託販売(泉の家)
9月20日(金) 日帰り旅行(日の出舎)	9月19日(木) 東京しごとセンター出張販売(コイノニア)
10月1日(火) 埼玉子ども動物自然公園アートフェスタ	9月21日(土) こひつじまつり(泉の家)
～12月28日(土) 2019(日の出舎)	10月5日(土) ぼんぼんぼん祭り(岡本)
10月17日(木) 日本セルフセンター木工部会研修会	10月20日(日) 区民スポーツまつり(泉の家)
・18日(金) 東京大会(就労日の出舎)	10月26日(土) みなみまつり(岡本)
10月18日(金) 日帰り旅行(日の出舎)	10月27日(日) 粘南まつり(泉の家)
10月19日(土) 施設公開行事(コイノニア)	10月30日(水) いきいき世田谷文化祭(泉の家・岡本)
11月1日(金) 日帰り旅行(泉の家)	10月31日(木) いきいき世田谷文化祭(泉の家・玉堤分場)
チェンバロコンサート(玉堤分場)	10月19日(土) 尾山台フェスティバル(玉堤分場)
11月22日(金) 日帰り旅行(岡本)	11月6日(水) 民生児童委員大会(泉の家)
11月29日(金) ありがとうの日(泉の家)	11月10日(日) ハーフマラソン(泉の家)
11月中 日の出町民文化祭・産業祭(日の出舎)	11月17日(日) 駒澤大学スポーツフェスティバル(泉の家・岡本)
12月10日(火) 年納会(岡本)	11月19日(火)・20日(水) 多摩産材利用拡大フェア2019(就労日の出舎)
12月14日(土) 日の出舎クリスマス会	11月30日(土) ここからまつり(コイノニア)
(日の出舎・就労日の出舎)	12月7日(土) せたがや福祉区民学会(コイノニア)
	12月8日(日) 区民ふれあいフェスタ(泉の家・岡本)

＊社会福祉法人 泉会＊

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	コイノニア かみきた グループホーム こいのにあ	〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号 ☎03(5316)2251 ☎03(5316)2252 koinonia@izumikai.jp
岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp	日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org
相談支援センター おかもと	(岡本福祉作業ホーム内) soudan-okamoto@izumikai.jp	グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609
玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp		

編集後記

記事編集の際、写真にて利用者の方の笑顔を見ていると元気が出てきます。皆さんの笑顔が増えるように日々努めたいと思います。
泉の家 奥田

編集人
社会福祉法人 泉会
発行所
〒157-0072
障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウーラ祖師谷
社会福祉法人 泉会
頒布五十円